

令和6年度の各部の重要施策

部名： 社会教育部

事業名	障がい児・者スポーツ教室開催事業
決算額	43万円
事業の目的	障がいを持っている方が、それぞれの状態に応じたスポーツを行うことにより、活動の場を広げるとともに身体を動かす喜びを体感してもらい、健康増進・体力向上を図ります。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期間：4月から3月まで月1回開催 (令和6年6月から偶数月の夜の部を追加開催。) ・ 対象：障がいのある小学生以上の市民とその家族・関係者 ・ 定員は設けていない。 ・ 参加料：無料 ・ 内容：ボッチャ、モルック、フロアカーリング、フロアホッケー、卓球、バスケットボール、バドミントン、フリスビー、フロアテニス
目標値 (KPI)	参加者：45名 (過去5年間平均値39名)
目標値 (KPI) の結果	参加者：68名
取り組み実績と効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時、見学や視察を受け入れながら毎月実施。(昼12回、夜17回) ・ 新種目 (モルック) を導入し参加者が飽きない工夫を図りました。 ・ 参加者が集い・活動し・繋がることで心身共に健康維持が図られました。 ・ 参加者が始まりと終わりの挨拶や感謝の言葉を発言する様になりました。 ・ 参加者が後片付けを積極的に行う様になり、社会性が養われました。
成果と課題 (次年度に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月継続して運動を行うことにより、健康維持が図られました。 ・ 引き続き参加者の活動機会を確保し、新たな種目も模索しながら参加者増に努め取り組みます。また、会場や運営にまだ参加者を受け入れる余力があるため、網走市民のほか、東オホーツク定住自立圏 (網走市、大空町、小清水町、斜里町、清里町) の住民の参加も受け入れていきます。